

農業 人と環境のための 農業と農産物

■訓子府町の農産物がおいしい理由
内陸性気候 + 寒暖差 (大) + 降水量 (少) + 日照率 (高)

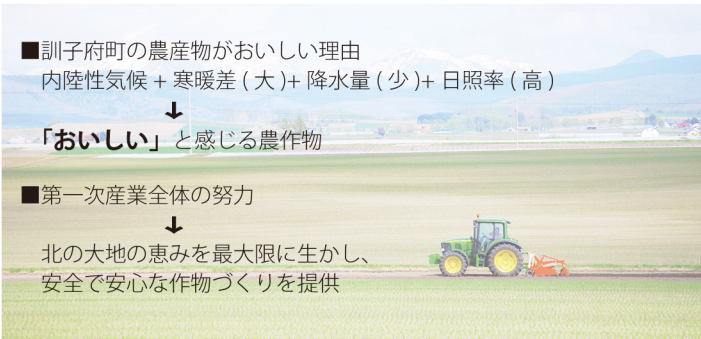
↓

「おいしい」と感じる農作物

■第一次産業全体の努力

↓

北の大地の恵みを最大限に生かし、安全で安心な作物づくりを提供



学校給食の米・タマネギ・ジャガイモは全て訓子府産を使用しています。

北海道でも大人気の 訓子府メロン



生産者に栽培のコツをお伺いしたところ

根気 + 愛情 + 寒暖差

↓
豊富な甘さ

世界に誇れる「おいしさ」です。



タマネギの生産量が 全国1位

(訓子府町を含む北見地方)

約144戸のタマネギ農家が心を込めて栽培しています。



生乳の生産量は町内全体で 3万t 超え

訓子府町の酪農家戸数は35戸で、うち8戸がフリーストールです。近年は大型化・省力化が進んできており、5戸はロボット搾乳を実施しています。乳牛の改良も盛んに行われており、全道共進会へも毎年出品されています。



訓子府町の農業の主なできごと

【ポテチ商品デビュー】



訓子府町生まれのジャガイモ「スノーマーチ」を使ったポテチチップスが(株)湖池屋様より全国発売されました。「スノーマーチ」は雪の降る(スノー)頃から3月(マーチ)にかけて一段と甘みを増すことから名付けられました。



【玉ねぎせんべいが発売】

玉ねぎのうまみと香りが凝縮されたせんべいが、JAきたみらいから令和5年8月に発売されました。JAきたみらい管内の訓子府町産の玉ねぎも原料として使用されています。袋を開けた瞬間、玉ねぎの香りが広がります。玉ねぎの旨味とたれの甘みをお楽しみください。



下記の収穫時期を参考にこそま町いただき、旬な時期に旬な作物をぜひご賞味ください。各種お中元にも大変喜ばれています。

収穫時期	6月	7月	8月	9月	10月	11月
タマネギ						
ジャガイモ						
秋小麦			7月下旬～1週間			
春小麦			8月上旬～1週間			
ビート						
スイートコーン ※1						
水稻						
メロン						

※1 一部、味の素食品北海道(株)使用作物